

## 平成 23 年度 大田区区民協働推進会議（第一回）

### 次 第

平成 23 年 4 月 22 日（金）

18 時 30 分～

本庁舎 教育委員会室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 区民協働担当課長 あいさつ
- 3 委嘱状の交付
- 4 委員の紹介
- 5 会長選出
- 6 平成 23 年度区民協働担当事業概要説明
- 7 平成 21 年度、22 年度活動報告
- 8 事務局からの提案
  - (1) 23 年度区民協働推進会議スケジュール
  - (2) 地域力応援基金助成事業審査について
  - (3) 今年度の推進会議の取り組み
- 9 スタートアップ助成の審査について
  - 書類審査員・面接審査員の選定
  - 書類審査 5 月 6 日（金）～17 日（火）
  - 面接審査 5 月 27 日（金）
  - 予定時間 午前 9 時～12 時 午後 1 時～5 時
- 10 第二回推進会議「地域力応援基金助成事業スタートアップ助成審査会」について
  - 開催日の調整
  - 6 月 3 日（金）～6 月 8 日（水）の間で 1 日
  - 開催時間 18：30～
- 11 その他
  - 第 3 回以降の推進会議の日程について

---

#### 【出席者】

青木委員 大塚委員 平林委員 北間委員 中島委員 伊藤委員 神田委員 遠藤委員  
田中委員 廣瀬委員

地域振興部地域力・国際都市担当部長、区民協働担当課長、地域力連携協働支援員  
区民協働担当 2 名

はじめに

事務局 定刻になりましたので、大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。区民協働担当係長でございます。このたび、区民協働推進会議委員に就任いただきまして、誠にありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。  
なお、本日、委員 11 名のうち 10 名の方にご出席いただいております。大田区区民協働推進会議設置要綱第 6 条に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。委嘱状につきましては、皆様のお手元に配布させていただいております。  
ここで、地域力・国際都市担当部長からご挨拶を申し上げます。

部 長 お忙しいところありがとうございます。2 年間委員としてご活躍いただくこととなります。よろしくお願いいたします。区民協働推進会議の設置要綱をお配りしています。平成 17 年に発足しましたが、まだまだ区民協働に関して改善の余地があると思っています。東日本大震災があり国民全体で協力していかなければならない情勢。こういう現実を見ながら、協働といった視点で区民活動を見直しができればいいと思っています。活発な論議をお願いします。  
区民協働推進会議の意義についてお話させていただきます。  
－ 設置について、所掌事項について説明 －  
何を審議、研究するのか、皆様の立場、気づきの中で協働を推進していくためのテーマをいただきながら、会議を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、区民協働担当課長からご挨拶を申し上げます。

課 長 区民協働担当課長です。先立ち 3 月 17 日より被災地支援調整担当を兼務しています。いずれも、区民と区と協働で進めていくというものです。事務局から自己紹介させていただきます。

< 事務局自己紹介 >

課長 区民活動の連携協働を推進するため、その分野の知識、経験を持つ人を 4 月から地域力連携協働支援員として非常勤で採用しました。区民協働推進会議や「おおた未来プラン 10 年」の計画事業に関することに関わってもらいます。

< 委員自己紹介 >

事務局 それでは、会長の選任に移らせていただきます。会長は区民協働推進会議設置要綱第 5 条により、委員の互選により選任していただいております。どなたか会長の候補者の推薦をお願いいたします。

< 会長選任 >

会 長 ただいま皆様からの推薦をいただき、本会議の会長をつとめさせていただきます。皆様、ご協力をいただきますようお願いいたします。副会長を推薦させていただきたいと思っております。もし私が出席できないときは進行を変えてお願いいたします。

< 副会長選任 >

- 会長 それでは、これより審議に入らせていただきます。では、事務局から今年度の事業説明や資料の確認と提案があるようですのでお願いします。
- 課長 まず、「区民協働担当事業概要」を説明させていただきます。  
— 区民活動の育成と基盤づくりの事業、団体支援とネットワークの強化事業、協働支援施設の運営事業について説明 —  
次に「平成21・22年度区民協働推進会議活動報告」について説明いたします。  
— 冊子に沿って説明  
推進会議スケジュールについて  
地域力応援基金助成事業審査について 説明 —
- 会長 事務局からの提案ですが、まず、推進会議の開催予定についてですが、年7回、このような時期に開催する予定ということですが、それと地域力応援基金助成事業審査スケジュールについてですが、それぞれの助成金で書類審査や面接審査、経過観察などが予定されています。ここまでの説明内容につきまして、質問・意見等がございましたら発言願います。
- 委員 (仮称)地域力センターについてですが、具体的に今あるものについて支援のしくみを考えるものですか。
- 課長 平成21・22年度活動報告の中にもありますが、(仮称)地域力センターは地域の拠点となるもので、地域で連携・協働のしくみを支援していくというものです。
- 委員 考え方ということでここに記載しているということですか。
- 課長 そうです。
- 会長 これからの進め方、提言書の何を重点にしていくのか、区としてそういうものがあるなら話してほしいと思います。
- 課長 新しく委員になられた方が多いので、区民協働担当事業の内容をみていただきながら、日程があれば現実の施設など、たとえばm ics おおたなど視察してほしいと考えています。連携・協働のしくみづくりというところから、実質的に連携・協働を進める中から、成功事例を作っていきたいと思っています。進め方のたたき台なども出していきたいと思っています。
- 会長 みなさんに活動報告を読んでもらい、新しい委員の方もいますので、考え方や希望をアンケートで聞いていただきたいと思います。それと区の考え方を総合してやってみたらどうでしょうか。  
次にスタートアップ助成の経過観察について説明をお願いします。
- 委員 資料2の審査員の数について説明をお願いします。
- 事務局 それでは経過観察について説明します。経過観察とは地域力応援基金助成事業を行う新規の団体を訪問し、申請事業の実施状況を確認するというものです。スタートアップ助成については経過観察を点数化します。
- 委員 継続についてはなぜ経過観察にいかないのですか。継続も公費を使っているのに、経過観察が必要ではないのでしょうか。

会長 一年目に厳しくやっているので継続の団体には行っていません。

支援員 皆さんの中に、前期の活動報告が活用されないのではないかと懸念があるかと思いますが。活動報告にある自治会・町会とNPOが地域の中で協力していくためには、(仮称)地域力センターがコーディネート的に機能することが大切と思っています。皆さんの活動報告を施策に具体的に活かすのも地域力連携協働支援員の使命です。

会長 連携・協働を具体化していきたいと思っています。一つでも連携を実現していく。みんなががんばって進めていきたいと思っています。続いて平成23年度のスタートアップ助成の審査員の選出を行います。

< 審査委員選任 >

会長 では、選出委員の皆様よろしくお祈いします。  
最後になりますが、その他何でも結構ですので、ご発言があればお祈いします。

課長 被災地支援ボランティア調整センターについてご報告します。  
— 東松島市への支援について  
大田区での支援の取り組みについて  
大田区被災地支援ニュースとボランティア募集のチラシについて  
…説明 —

会長 それでは、意見も出尽くしたようですので、この辺で審議を終了させていただきます。  
皆様、本日はありがとうございました。  
事務局よろしくお祈いします。

部長 閉会あいさつ

< 終了 >